

平成27年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成26年度実績)

担当課 20社会教育課

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	17201	事務事業コード	2027
事務事業名	佐渡学推進事業			開始年度	平成18	終了年度	未定	
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	社会教育法		例規等	佐渡市文化財保護事業補助金交付要綱 佐渡市伝統文化等保存支援補助金交付要綱		
将来ビジョン	5. 佐渡活性化のための人材の育成・確保 (1)次世代を担う人材育成					H25: 重点●政策○	-	
H26教育行政方針	【社会教育の推進】4. 歴史を学び後世に受け継ぐ 伝統文化の島					H26: 重点●政策○	-	
H27教育行政方針	【社会教育の推進】4. 歴史を学び後世に受け継ぐ 伝統文化の島					H27: 重点●政策○	-	
事業概要	佐渡学センターは、佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、博物館・資料館管理事業と協働しながら、様々な手法により情報を発信する役割りを担っている。また、能楽体験学習、特別活動支援、後継者育成等の活動を支援することにより佐渡の伝統文化の継承と保存につなげるとともに、大学との連携事業を推進し市民への専門的な情報発信の場を提供する。							
対象	市民・研究者・観光客等							
意図(対象をどのようにしたいか)	《主となる事業》 ◎ 収蔵資料データベースの構築と情報発信 ◎ 佐渡の伝統文化等保存支援事業 ◎ 新潟大学人文学部との連携協定事業							

Do

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	25年度実績値	26年度(評価年度)		27年度目標値	28年度目標値	31年度目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	伝統文化等保存支援事業 補助団体数	団体	4	4	3	5	5	5
算式	-							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名		H25決算額	H26決算額		H27当初予算額	H28以降の予算の方向性		重点細事業
	指標	目標(成果)指標名	単位	H25実績値	目標値	実績値	H27目標値	事業の方向性	
1	収蔵資料データベース化事業		6,098	6,428		4,402	予算	維持	
	指標	データ数	件	15000	8000	27000	3000	事業	
2	体験学習事業(伝統文化等保存支援補助金)		140	120		100	予算	維持	
	指標	参加者(体験)延べ数	人	118	120	215	220	事業	
3	特別活動支援事業(伝統文化等保存支援補助金)		240	220		200	予算	維持	
	指標	生徒、指導者、ボランティア等の人数	人	27	25	26	27	事業	
4	後継者育成事業(文化財保護事業補助金)		425	190		340	予算	維持	
	指標	支援団体数	団体数	3	3	1	3	事業	
5	新潟大学連携協定事業		0	140		150	予算	維持	
	指標	連携事業回数	回	0	2	4	2	事業	
6	一般経費		2,887	4,010		4,481	予算	維持	
	指標	-	-	-	-	-	事業	維持	
事業費の合計(千円)			9,790	11,108		9,673			
財源内訳	国庫支出金		0	0		0			
	県支出金		0	0		0			
	地方債		0	0		0			
	その他		0	0		0			
	一般財源		9,790	11,108		9,673			

Check

◆事務事業を構成する細事業の評価◆

A: 適正である B: 検討の余地あり C: 見直しすべき

枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	収蔵資料データベース化事業	B	B	A	・H26の実績の主な内容は、相川郷土博物館のスキャナー録り件数であった。一方、H27以降は、収蔵されている資料のデジタルデータ化、所在確認及び収蔵整理を計画的に進めていく。
2	体験学習事業(伝統文化等保存支援補助金)	B	A	B	・島内児童・生徒・市民に「佐渡の芸能体験」の研修の場を提供することにより、佐渡の文化の継承と人材育成につなげた。 (H26: 佐渡の能を織る会)
3	特別活動支援事業(伝統文化等保存支援補助金)	B	B	B	・「全国高等学校総合文化祭」に参加する学校を支援する事業である。羽茂高等学校が例年出場しているが、他校からの参加も呼びかけていきたい。 (H26: 羽茂高校)
4	後継者育成事業(文化財保護事業補助金)	B	B	B	・佐渡の無形民俗文化財である「鷺流狂言・文弥人形」の後継者育成(児童・生徒)のため、事業の継続を図るもの。 (H26: 高千中学校)

5	新潟大学連携協定事業	B	A	A	大学主催事業としてのシンポジウム、市主催のセミナーを開催することにより、市民に対してより専門的な情報を発信する機会とした。
6	一般経費				

Action ◆今後の事務事業の方向性◆

評価(担当課長)	事業の方向性	維持	予算の方向性	維持
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館・収蔵庫等の資料は旧市町村からの台帳により管理しているが、資料の所在確認ができない台帳が存在する。よって早急に統一的な資料のデータベース化を進める必要がある。 ・伝統文化の保存支援については、これまで支援団体が固定されてきたが、団体の高齢化や収入減により申請団体の減が課題となっている。 			